

15期4号 医療安全ニュース

今回のテーマ:SBARを使ってみよう!!

SBARとは??



迅速かつ適切なコミュニケーションを促進するための技法である

Situation = 状況

Background = 背景

Assessment = 評価

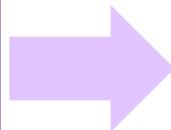
Recommendation = 提案

この4つの順番に伝えます



SBAR形式での
報告・提案の事例

8階の看護師の木村です。
888号の医真太郎さんが
息苦しいと言っています。
どうしたらいいですか？



S	8階の看護師の木村です。888号の医真太郎さんのことでお電話しています。患者は62歳男性、主訴は新たに発生した息切れです。
B	本日、開腹手術を受けました。心臓および肺疾患の既往はありません。現在、右肺の呼吸音が減弱していて、痛みがあるようです。
A	気胸を除外したいと考えています。直ちに評価をした方がよいと思います。
R	すぐに来ていただけますか



このSBARを使ってコミュニケーションスキルを
アップしましょう!!

～お知らせ～

11月24日から11月30日は医療安全推進週間です。各自、安全宣言を行い医療安全向上に取り組みましょう。

今月の一言

考えよう 自分の手にある 命の重み

引用：いろはかるた

2024年10月24日 医療安全管理室